行 政 調 査 報 告 書

・広島市立みらい創生高等学校
・広島平和記念資料館
・広島県立広島叡智学園
・海と島の歴史資料館

令和７年１月２１日（火）～２２日（水）

大阪維新の会大阪府議会議員団

◇視察期間

令和７年１月２１日（火）～１月２２日（水）

◇視察参加者

植田 正裕議員、浦本 ともえ議員、くすのき 好美議員、中川 誠太議員、
橋本 ゆうと議員、広野 瑞穂議員、泰江 まさき議員　　計７名（随行なし）

◇視察先

≪第１日目／１月２１日（火）≫

〇広島市立みらい創生高等学校　（広島市中区大手町四丁目４番４号）

〇広島平和記念資料館　（広島市中区中島町 1-2）

≪第２日目／１月２２日（水）≫

〇海と島の歴史資料館　（広島県豊田郡大崎上島町東野 2721 番地 1）

〇広島県立広島叡智学園　（広島県豊田郡大崎上島町大串 3137-2）

◇視察日程

	行程
1月21日(火)	植田 正裕議員、浦本 ともえ議員、くすのき 好美議員、中川 誠太議員、 橋本 ゆうと議員、広野 瑞穂議員、泰江 まさき議員（五十音順） 10：32　新大阪駅出発 11：57　広島駅到着 13：30～15：30　広島市立広島みらい創生高等学校 概要説明・施設見学・質疑応答 15：45～17：00　広島平和記念資料館 概要説明・施設見学・質疑応答 17：15　宿泊先到着
1月22日(水)	植田 正裕議員、浦本 ともえ議員、くすのき 好美議員、中川 誠太議員、 橋本 ゆうと議員（五十音順） 08：40　宿泊施設出発 10：10　安芸津発フェリーへ乗船 10：45　大西港（大崎上島）到着 11：00～11：40　大崎上島歴史資料館見学 13：00～15：00　広島県立広島叡智学園 概要説明・施設見学・質疑応答 15：25　大西港フェリーへ乗船 17：00　広島駅到着 18：03　広島駅出発 19：28　新大阪駅到着

広島市立広島みらい創生高等学校

（目的）

大阪府では、不登校児童生徒は年々増加しており、不登校生徒児童生徒に対する支援の充実は喫緊の課題である。また、起立性調節障害など心身の不調により継続的な登校が難しい子どもや、発達障害や学習障害などの特性によって勉強や学校生活そのものが苦手な子どもなど、様々な特性を持つ子どもがいるため、多様な教育機会を確保することが肝要である。

広島みらい創生高等学校では、単位制、昼夜間の開校、フレキシブル教育（定通併修制度）など、特色のある取組みや学習支援を行っていることから、その内容について視察することとした。

（説明者）

校長 小田卓也
定時制教頭 谷口和久
通信制教頭 田村智明
教育委員会指導第二課 課長補佐 檜垣純
〃 指導主事 山本恵子

（視察の内容）

- 平日登校コース及び通信教育コースの教育内容、併修の制度
- ミライズプログラムの内容、広島大学との連携方法
- 学び直し講座の内容、生徒への学習効果
- 質疑応答、意見交換

（質疑応答）

【議員】単位制・通信制とのことなので、18 歳以上の生徒も数多く在籍していると思うが、生徒の年齢層は。

【先方】平日登校コースの生徒の平均年齢は 17.6 歳、通信教育コースの平均年齢は 18.7 歳で、全校生徒の平均年齢は 18.3 歳。

平日登校コースは在籍 731 名のうち 20 歳以上の生徒は 60 名で約 8%、通信教育コースは在籍 1329 名中のうち 20 歳以上の生徒は 286 名で約 21.5%。8 割以上が 10 代の生徒となっている。

【議員】様々な要素の特色を感じられるが、生徒の通学区域は。ある程度近隣の広島市内から来ている生徒が多いのか？広島県内であっても遠方からの生徒もいるのか？県外から受験し、引っ越してくる生徒もいるのか？

【先方】広島市立高等学校の通学区域に関する既定では、定時制の課程の学区は広島県一円と定められており、広島県内から通学することができる。

また、広島市立高等学校則では通信教育を行う区域を広島県の区域内に住所を有する者と

定められており、通信教育コースの生徒は県内各地からスクーリングのために通学している。

本校では約 7 割の生徒が広島市内から通学している。一家転住や家庭の事情等により県外から本校を受験し、広島県内に引っ越してくる生徒も毎年４、５名程度いる。

【議員】パンフレットには４年での卒業が基本とあるが、３年（最短）で卒業する生徒、もしくは４年以上在籍して卒業する生徒はどのくらいいるのか。

【先方】入学当初は６割以上の生徒が３年で卒業を希望するが、実際に３年で卒業している生徒は全体の約２割。約８割の生徒は４年以上で卒業する。在籍期間は８年間としており、５年以上で卒業する生徒もいる。

【議員】一次選抜・二次選抜と、転入学者選抜・編入学者選抜での入学者数、割合について。

一次選抜と二次選抜の入学者数、割合について。また、編入の場合、前校からの単位は引き継ぐことができるのか。

【先方】昨年度、平日登校コースの新入生は一次選抜による入学者が 234 名、二次選抜による入学者が６名。平日登校コースの転入学者は０名で、編入学者は４名。

通信教育コースの新入生は一次選抜による入学者が 170 名、二次選抜による入学者が 46 名。通信教育コースの転入学者は 116 名で、編入学者は 13 名。

他行からの転入学、他行を中途退学後本校に入学する編入学については、基本的に前籍校での単位を設定して引き継いでいる。

【議員】教員は何名くらいいるのか？卒業する生徒は毎年何名くらいか？

【先方】非常勤、事務も合わせると 135 名、県市で半々くらい。人員は手厚く配置されている。非常勤除くと 80 数名。卒業者は毎年 300～400 名程度。

【議員】資料 P8 に「全日制との施設共用により、利用上の制約がある」とあるが、どういった意味か？

【先方】これは前の学校の課題で、この課題を解決したという意味。夜間の学校が始まると、部活動ができない、補修ができない等の課題があったので、解決したということ。

【議員】通信制と定時制で科目の違いはあるか？

【先方】一緒。科目は指導要領に沿っている。選択科目としてハングル、中国語といった科目があり、選択するかしないかは生徒の自由。

【議員】教員の給与体系は？異動は何年くらいのスパン？

【先方】給与体系は市基準。異動は６年前後。

【議員】外国にルーツを持つ生徒も多いかと思うが、どのくらいいるのか？支援体制は？

【先方】外国籍の生徒は 30～50 名。今年度は担当員がいて、日本語指導コーディネーター１名、日本語指導協力員１名。対象の生徒には個別で指導を行っている。来年度はコーディネーターを 1 名追加する予定。外国籍の生徒でも、日本語指導を求めない子もいるので、生徒の希望に応じて対応している。

【議員】校舎について、こだわったポイントは？
【先方】自習するスペースを作って、生徒の居場所作りを行った。札幌の大通高校を参考にした。教室の空調が、廊下にも流れるようになっている（全館空調）。多目的トイレを各階に作った。

【議員】県立、市立で共存させた理由は？県と市が上手くいっている時はいいが、学校自体の運営が政治に振り回されてしまうのではないか、と危惧している。
【先方】二重行政の解消が第一の目的。もともとこの土地が市所有なので、市立から話がスタートしている。費用の観点から手厚い教育ができるので県・市で一緒にすることになった。

【議員】不登校生徒に対する、勉強面以外のケアは？教職員へ特別な研修を行っているか？
【先方】特別な研修等は行っていないが、教員間で情報共有ができるようにしているのと、ミライズプログラムの中に教員が入ってフィードバックできるようにしている。
　通級の自立活動の取組が中心になってくる。チューターが気になる子をピックアップして、会議にかけてといった、通級の取組をしている。情報共有できていることで一定の成果がでている。

【議員】パンフレット P5 の「特別活動」とは？
【先方】LHR、文化祭、ボランティア活動など。

【議員】いろんなニーズがある教育分野において、不登校、外国にルーツを持つ子どもを含め学校に求められることをすべて網羅しているのがすごいと感じた。これはどのような経緯で開校することになったのか。相当前から構想があったのか？
【先方】教育委員会の尽力で、Ｈ２６に開校。最初はＨ１３に議論が始まったと認識している。教員を一か所に集めるというのが第一だったのではないかと思う。教員の年齢層は若い。

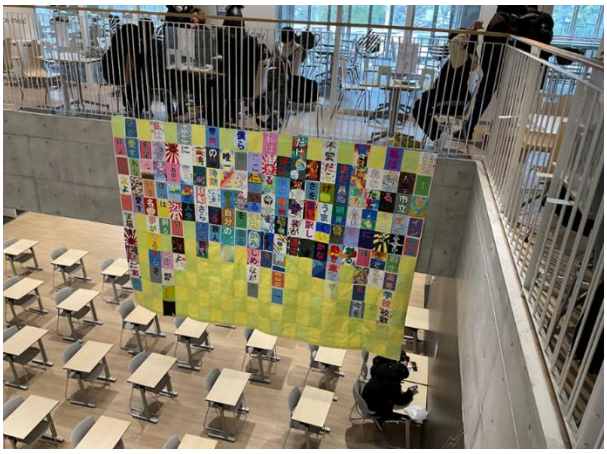
（まとめ）
　広島県立広島みらい創生高等学校の学校案内動画を拝見、ほとんどの生徒が「先生が優しい、距離が近い」と話していた。県立の定時制５校、通信制１校、合計６校が合併しできた学校、生徒も 2,000 人を超える大人数にも関わらず、「先生が優しい、距離が近い」という生徒の言葉は、学校が目指す特色をしっかり活かしてきたから、また、教職員の人数も多く、生徒個々の特性に合った関係を築くことができていると感じた。
　ミライズプログラムでは、生徒の年齢に近い広島大学の大学生との関わりで、ソーシャルス

キル、人との接し方などを学ぶことができる。学習内容や環境も大切だが、人と人との繋がりを一層大切にしていることが印象に残った。

不登校だった生徒も多く在籍しているため、学び直し講座は生徒の不安が解消でき、自分のペースで学習できる環境も整っている。

校長が設計、札幌大通高等学校を参考にした校舎は広々とし、きれいで、生徒もいきいきとした表情だった。

大阪府において、令和 8 年に開校予定の学びの多様化学校や老朽化した校舎の建て替えに大いに参考となる高等学校だった。



広島平和記念資料館

（目的）

広島平和記念資料館は、1945 年に広島に投下された原子爆弾の惨禍を伝え、核兵器の廃絶と世界平和の重要性を啓発する目的で設立された施設である。今回の調査では、施設の運営状況や展示内容、来館者層、現場の課題や取り組みを把握し、平和教育や観光政策への活用を検討する。

（説明者）

啓発課　課長補佐　新田 智則（にった　とものり）
学芸課　主査　沖田　なつき

（視察の内容）

1. 施設の基本情報

・ 設立：1955 年開館、1994 年に現在の施設に改築。
・ 構成：本館・東館の 2 つの展示エリア。
・ 本館：被爆直後の写真や遺品、被爆者の体験証言などを中心に展示。
・ 東館：原爆の仕組み、核兵器の現状、平和活動に関する資料を展示。
・ 入館料：大人 200 円、高校生 100 円、中学生以下無料。
・ 運営方針：核兵器の廃絶を訴えるため、資料の保存と展示を通じた平和教育を推進。

2. 来館者の状況 ・ 年間来館者数：約 120 万人（2024 年度）

・ 国内観光客：約 75%
・ 海外観光客：約 15%（近年、コロナ禍からの回復で増加傾向）
・ 学校団体：地元広島を中心に全国からの修学旅行が多い。
・ 年齢層： ・ 高校生以下の来館者が約 40%を占め、教育的利用が目立つ。
・ 30 代～50 代の国内観光客も多く、特に家族連れの姿が目立った。

3. 展示内容の詳細

① 本館

・ 衝撃的な被爆の実態を伝える展示
・ 「人影の残る壁」：爆心地付近で被爆した人々の影が壁に焼き付いたもの。
・ 被爆者が着ていた衣服、溶けた瓶、変形した金属など。
・ 遺品の展示
  ・ 学生のカバンや弁当箱が多くの来館者に深い印象を与えていた。
  ・ 体験証言映像
  ・ 被爆者の証言がモニターで再生されており、来館者が立ち止まって見入る姿が見られた。

② 東館

・ 科学的な解説
・ 原爆の仕組みや放射線の影響を、模型やグラフでわかりやすく展示
・ 国際的な平和活動の紹介
・ 世界各地での核兵器廃絶運動や広島が果たしてきた役割
・ 未来へのメッセージ
・ 来館者が平和への願いを記すコーナー

4. 課題および今後の取組

・ 運営上の課題

被爆者の高齢化により、直接証言を聞く機会が減少している。

被爆資料の劣化が進行しており、保存や修復の負担が増えている。

海外からの来館者が増加しているが、言語や文化の違いに対応した案内が不十分。

・ 今後の取組

デジタルアーカイブ化を進め、被爆者の証言を次世代に残す。

若年層が興味を持つようなインタラクティブな展示の導入。

平和学習のプログラムをオンラインで提供することで、広島に来られない人々にも学びの機会を届けること。

5．調査結果と考察

① 成果

資料館は、衝撃的でリアルな展示を通じて、多くの来館者に平和の重要性を伝える役割を果たしている。特に、被爆資料の保存と展示は、世界的にも貴重なものであり、国内外からの高い評価を受けている。

② 課題

・保存と継承の課題：被爆者の証言や資料の保存には時間とコストがかかり、長期的な支援が必要。

・若年層へのアプローチ：修学旅行の利用が中心だが、興味を引きやすいデジタル技術の活用が今後の鍵となる。

・多言語対応の課題：現在 4 言語対応だが、音声ガイドや案内が海外の利用者には十分とは言えない。

③提言

1. 若年層向けの教育プログラムの強化：ゲーム感覚で学べるインタラクティブな展示や、被爆者の証言に基づく VR 技術の導入を検討。
2. デジタルアーカイブの推進：被爆資料や証言をデジタル化し、オンラインで世界中に発信するプラットフォームを構築。
3. 多言語対応の拡充：翻訳精度を高めた音声ガイドや案内アプリの提供、現地スタッフの語学教育を推進。
4. 被爆者の証言収集の支援：被爆者の証言や遺族の声を記録するため、全国的なプロジェクトを提案。

（まとめ）

広島平和記念資料館は、核兵器廃絶と平和の大切さを訴える上で、国内外に対して非常に重要な役割を果たしている。しかし、施設の持続可能性や次世代への伝承方法については、新た

な工夫や支援が必要である。平和記念資料館を通じて、平和への願いをさらに多くの人々に広めることが期待されている施設である。

海と島の歴史資料館

（目的）

大崎上島の伝統や海に関する歴史を詳しく知ることができるため、学校の遠足や社会見学などの教育活動の一環として訪れる人も多い施設となっている。歴史学習の資料館の参考とするため、視察を行うこととした。

（視察の内容）

1．施設

正式名称は「大望月邸」。1875 年（明治８年）に建築が始まり、1881 年（明治 14 年）に完成。かつての豪商であった望月家の邸宅を保存・改修して公開されている。

2．展示内容

・島の伝統芸能「櫂伝馬競漕」の歴史的資料

・島の北側に生息している天然記念物　スナメリの模型

・当時の船乗りが見聞きして書いた「桜田門外の変」の図と書状
・造船、海運で栄えた島の文化財、美術品　など

（まとめ）

数々の魅力ある展示物から、島の文化や海の歴史を体感することができた。また、春には「さくら祭り」など、季節に合わせた催しも開催されており、島の重要な観光資源となっている。海と島の歴史資料館は、地域の歴史と文化を保存し、次世代に伝えるため、多くの役割を果たしている、非常に重要な施設であると感じた。

広島県立広島叡智学園

（目的）

転出超過による人口減が激しく、多くの県立高校が定員割れしている広島県において、大崎上島に平成 30 年に「学びの変革」の目指すべき新たなモデル校として設立された全寮制の公立中高一貫校である叡智学園では、中高 6 年間を通じてバカロレア教育、課題解決型の最先端の教育を実施しており、本府における世界に伍する副首都大阪の実現に向けた、さらなる教育環境の充実に向けて視察することとした。

（説明者）

福嶋　一彦　校長
加藤　賢一　教頭
宮本　昌美　事務部長

（視察の内容）

国際バカロレア教育(MYP・DP 認定)を教育活動の主たるツールとし、探求ベースの学びを展開している。大阪府ではバカロレア教育を実施する府立中高一貫校の水都国際中学校高等学校があるが、バカロレア教育を受けることのできる生徒は限定される。水都国際中高に

おいては主に帰国子女がバカロレアコースに進学するが、本校ではすべての生徒が IB プログラムを享受することができることに加え、学校生活・寮生活を通じて多種多様な人とのコミュニケーション活動を通づることで、将来のリーダーとしての人格の陶冶に努めている。

入学試験は東京都立中高一貫校入試や大阪府において実施されるすくすくウォッチ同等の適性検査のみで英語試験は課されない。つまり仮に英語力を入学前に身に着けていない生徒であっても、本校のカリキュラムに則ればネイティブ英語を習得できるという国内でも稀に見る公立学校である。こうした特色から、北は北海道、南は沖縄県といった越境入学する生徒も約 40%を占める人気校となっている。

在学中の語学留学は、高校 1 年生時のイギリスのルシン高校留学を頂点とし、その前にフィリピンのセブ島、フィジー、ハノイへの語学研修を実施している。また、国の制度である「トビタテ！留学 JAPAN」も積極的に活用した海外留学も推進している。加えて国内外の大学ツアーも実施し、多様な進路選択肢を生徒に見せた結果、令和 6 年度は卒業予定 45 名のうち 80%弱が海外大を視野に入れた進路を希望している。進路担当者は国内担当と国外担当を分け、数百を超える面接練習をする等、よりきめ細やかな進路サポートを実践する。海外大学とのネットワークを作る担当も在籍する。

寮に関しては管理寮でなく、10 人が 1 つの家に住む教育寮(中高は別)であり、ハウスマスターとハウスサポーターが付いている。

入試は 1 次試験(学科)で 80 人まで絞り、2 次試験では 2 泊 3 日で実施し、グループワークや個人面接を課し、人となりを確認することで全寮制になじむ生徒を獲得する。

（質疑応答）

【議員】英語を課さない入学試験であるが故、英語の初心者が英語で進められる授業についていくことは困難であると考えるが、授業の進め方について教えて欲しい。

【先方】当初はバカロレア＝英語授業というイメージを持っていたが、開校前の段階で CLIL のシステムは入ってきたタイミングであったことと、アドバイザーの先生が「英語ではなく、大切なのは探求学習である」と助言して下さったことから、もちろん英語教育自体にはものすごく力は入れているのだが、英語での授業に対するこだわりはなくなった。

【議員】IB アドバイザーについて詳しく聞きたい。

【先方】他のバカロレア教育を実施する学校と奪い合っているのが現状。本校の教育を推進する湯崎知事の傘の下にいるので現在は非常にやりやすいが、政治に左右される可能性はゼロではない。良い人材を確保するために、企業版ふるさと納税で予算を集める等、努力を重ねている。

HIROSHIMA GLOBAL ACADEMY
to HiGA!